



Title	日米関係（沖縄返還）10(下田・ジョンソン（一〇・三一於ワシントン） 外務省外交史料館レファレンス番号：H223560)
Author(s)	-
Citation	平成22年度外交記録公開(4)No.8   公開日：平成23年2月18日   外務省外交史料館管理番号：2011-0023   CD・DVD番号：H22-021
Issue Date	
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43785">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43785</a>
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

下田 昭彦  
10月  
昭和  
27年

特

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

大政官  
務次  
臣官官審審長長  
機審文会管給  
総人厚計

総番号(TA) 49606 主管  
69年11月1日00時20分 米国 発着  
69年11月1日14時46分 本省 着

外務大臣殿 下田 大使 臨時代理大使 総領事 代理

オキナワ問題(ジョンソン次官との会談)

第3458号 特秘 至急

3/日本使一時帰国前の打合せかたがた。ジョンソン國務次官を往訪し。本件につき会談したところ要旨次の通り。

1。本使よりコミュニケのDRAFTINGは。例のO O N T E M P L A T E の問題を含み全て解決し。残るは核の問題のみとなつたところ。日本政府はこの問題についてもなるべく早く米側の意向を承知することを希望していると思われるので。本日何らかのINDICATIONをうかがえれば有難い旨述べたところ。ジョンソン次官はこの問題については目下従来申し上げたところ以外に何もつけ加えることがない。大統領はここ数日来本日発表のラテンアメリカ政策の作業にいそがしかつたし。現在は11月3日発表のベトナム政策声明文を自らふてきとつて起草中であり。実際問題として最近はこの本件につき大統領と協議する時間がなかつた次第である。しかし出来れば来週早々よりホワイトハウスで核の問題も含め米政府としての最終方針の

外務省

極秘

特

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

協議を開始する段取りとしたいと考えて述べた。

2。本使より。核問題についての日本側ドラフトはつとに米側に提出済みであるが。米側からは今日まで何らの修正の申入れもまた対案の提出もなかつた次第である。この最終段階に及んで新しいDRAFTINGにとりかからなければならぬような事態とはならないよう希望する旨述べたところ。同次官は核の問題につき対案を提出しようとするればどうしても大統領の決裁を経ることを必要とするが。余り前広に決裁をあおぐ訳にも行かなかつた次第である。日本案通りで承認されるかあるいは修正を必要とするか。正直のところ現在では分らないが。もし問題が起り得るとすれば。それはEMERGENCYの場合の核の取扱いについてであろうから。この点につきあらかじめ日本側で心構えをねつて(THINK OVER)おかれてはどうか。いずれにするもなるべく早く(出来れば来週末までに)米側方針の決定を見得るよう取計らい。マイヤー大使を通じて直接大統領の意向をサトウ総理に伝達することが出来れば。と考えている次第であると述べた。

3。本使より。財政問題についての東京交渉の進展よりは満足し得べきものと思ふ旨述べたところ。ジョンソンも同感の意を表し。本日も財務省側との会談を開いて検討することになっているが。この分では総理訪米の前に大筋

外務省

極秘

中東  
北西  
北保  
中東  
西東  
西東  
近ア  
参審近ア  
次路経國万  
参質統國  
参政技二  
國一理  
参案協規  
参政経科  
軍社専  
参道内外  
文長

林と

特

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

極秘

の妥結を得られるのではないかと期待している旨述べた。  
4. ジョーンソンより最近自分のところにも送られてきたが、オキナワ実業家連盟の名においてトウマ氏より160余人の米議員にあて、オキナワ実業家は日本復帰をほつしない旨の手紙がいつせいに送達されたところ。もち論かかる行動により米政府の方針に何らの影響を及ぼすものではないが、ただ米政府が議会方面の説得に最後の努力をつくさんとしているおりにかくの如き手紙が現地からとどくことは、米議会説得の努力を一層手間のかかるものにする点で困きゆうしている旨述べ、オキナワ人はもともとかれらの運命を日米間だけで勝手に決めるとのへん見をいだいておそれがあるので、これをせ正するためには米側よりもむしろ日本側から日米交渉の進展ぶりにつき現地側に適きブリーフされることとしてはどうかと述べたので、本使よりこの点につき本国政府の注意をうながし、適当な措置がとられるようりん請すべき旨述べておいた。

(3)